

各種脅威に対する施設の強靱化

整備目標

①災害対処拠点となる駐屯地・基地等の機能維持・強化 (大規模自然災害)

- ・南海トラフ地震等による津波被害及び河川氾濫等による浸水被害が想定される自衛隊施設について、対策を推進。
- ・液状化が想定される飛行場の液状化対策を推進。

②自衛隊施設の抗たん性の向上 (武力攻撃・テロ行為等)

- ・主要司令部等の地下化を推進。
- ・主要施設のHEMP攻撃対策を推進。
- ・主要施設のライフラインの多重化を推進。
- ・多層抗たん性向上策として、分散パッドの整備等を推進。
- ・火薬庫の整備や、民間燃料タンク借り上げにより、必要保管量を確保。
- ・CBRNeに対する防護性能の付与として、施設の機能・重要度に応じた構造強化、離隔距離確保等の施設再配置・集約化等を実施。

- ・基地・駐屯地の最適化を図ることにより、③老朽化が進む施設へ対応。